

雲^{うん}丹^{たん}の活動日記

今月の雲丹（うんたん）の活動

行方不明になった雲丹を発見しました!!

4月は行方不明になったと騒ぎになった雲丹ですが、無事発見されました。
29日(火)には、雲丹のイメージソングと振り付けのお披露目も行われ、ますます活躍しそうです。イベントの様子は来月号に掲載します！

〈あおい環プロジェクト事務局（地域おこし協力隊）からのおしらせ〉

・わかめオーナーの収穫体験を実施しました

一般の方に佐井村のわかめのオーナーになってもらい、ともに育てる「佐井村弁天わかめオーナー事業」の収穫体験を3月29日(土)に実施しました。

村内外からおよそ25名のオーナーに参加していただき、作業しました。

わかめは11月にオーナーと漁師と一緒に種付けを行って、約半年で大きく生長しました。参加したオーナーには親子連れも多く、特に子どもの参加者は初めてのわかめの収穫に驚きながらも楽しんでいました。

体験後には、ひじきごはんやわかめと岩のりの和え物など、佐井村独特のお昼ご飯を食べ、漁協の工場見学も行うなど、佐井村を満喫していただきました。

収穫したわかめは、漁協で塩蔵加工し、5月下旬にオーナーのみなさんにお送りする予定です。



・サメさばき体験を実施

わかめオーナーの収穫体験とあわせ、オプション企画として「サメさばき体験」を実施しました。

大型の魚をさばく機会は大きく減ってきました。特にサメは鮮度の問題もあって、切り身以外で出回ることは少ないようです。参加者は珍しい体験を楽しんでいました。

今月のアピオス

《食べて元気！アピオス》

下北でアピオスの栽培が推奨される理由のひとつに、サルの被害がないことがあげられます。

これは、脇野沢にある野猿公苑にアピオスを持ち込んで実験が行われ、わかったものです。実際に、昨年も川目の畑に入り込んだサルがアピオスを少しかじりましたが、まずかったのが捨てて帰りました。

サルがアピオスを食べない理由ははっきりとしていません。寒ざらし前のアピオスは甘みがないこと、生のアピオスは非常にアクがつよいことなどが理由として考えられています。アピオスは動物と人間の共存につながる野菜でもあるのです。



屋根の上のサル